

I 教育目標

(1) 本校の教育目標

心身ともに健康で、心豊かな富士北っ子の育成

(2) 経営方針

くめざす富士北っ子>

心と体が元気な富士北っ子



合い言葉は
「あ・い」

- ・あいさつが進んでできる子
- ・「ありがとう」と感謝できる子
- ・命を大切にできる子
- ・思いやりのある子

(3) 本年度の重点努力目標

喜びを味わえる学校

「できた」「がんばった」と実感し、喜びを味わうことができる活動を行う。

- ・自己決定の場・振り返りの場の充実

日々の取組を積み重ねる学校

あいさつ、そうじ、係の仕事、時間を守る、学習のルールなど日々の取組を大切にする。

- ・規範意識を高める指導(道徳教育の充実)

安心・安全な学校

自他共に命を大切にする心を育むとともに、安全意識を高める。

- ・安全教育の充実

温かく居心地のよい学校

自分のよさ、周りの人のよさを見つける。認め合い、助け合う心を育む。

- ・思いやりの心を育む活動

学校から

地域へ

- ・地域との連携、地域学校協働活動の推進(業務改善により多忙化解消に取り組む)

学校を愛し、地域を愛する心を育む

II 学校評価の目的と方法

1 学校評価の目的

- (1) 教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図る。
- (2) 自己評価及び学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進める。
- (3) 学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

2 学校評価の定義及び留意点

学校評価の実施手法は、以下の3つの形態に整理される。

(1) 【自己評価】各学校の教職員が行う評価

学校評価の最も基本となるものであり、校長のリーダーシップの下で、当該学校の全教職員が参加し、設定した目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価を行う。

(2) 【学校関係者評価】保護者、地域住民等の学校関係者などにより構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

保護者、学校運営協議会委員、地域住民、などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価する。

自己評価と学校関係者評価は、学校運営の改善を図る上で不可欠のものとして、有機的・一体的に位置付けるべきもの。

(3) 【第三者評価】学校とその設置者が実施者となり、学校運営に関する外部の専門家を中心とした評価者により、自己評価や学校関係者評価の実施状況も踏まえつつ、教育活動その他の学校運営の状況について専門的視点から行う評価

第三者評価は、実施者の責任の下で、第三者評価が必要であると判断した場合に行うもの。

☆ 児童生徒・保護者対象のアンケート（外部アンケート等）について

- ・自己評価を行う上で、児童生徒や保護者、地域住民を対象とするアンケートによる評価や、保護者等との懇談会を通じて、授業の理解度や保護者・児童生徒がどのような意見や要望を持っているかを把握することが重要である。
- ・アンケート等については、学校の自己評価を行う上で、目標等の設定・達成状況や取組の適切さ等について評価するためのものととらえることが適当であり、学校関係者評価とは異なることに留意する。

3 評価の方法

(1) 【自己評価】令和6年1月上旬 児童・保護者アンケートの結果を見て実施

設定した本校の目標や具体的計画等に照らして、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について、教育目標に基づいた児童アンケート（全児童対象）、保護者アンケート（全保護者対象）の結果等を踏まえて、全教職員に実施する。

(2) 【学校関係者評価】令和6年2月15日（木）に実施

学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価していただく。学校関係者評価委員会の構成メンバーは、学校運営協議会の委員とする。

(3) 【第三者評価】

第三者評価が必要であると判断しないので実施しない。

(4) 児童・保護者対象のアンケート

① 児童アンケートについて

- ・12月7日（木）朝の読書の時間を利用して実施する。
- ・欠席者は、12月14日（木）までに実施する。

② 保護者アンケート

- ・12月8日（金）に全児童タブレットを持ち帰る。タブレットで回答。
- ・12月11日（月）にタブレットを持参し登校。未実施の家庭には、12日（火）からの懇談会で確認をして実施。児童一人に対して一つのアンケートを実施してもらう。

Ⅲ アンケート結果（児童・保護者）と自己評価

1 児童 保護者 アンケート結果

※ 5頁～

2 自己評価

※ 7頁

3 児童・保護者アンケートと自己評価（教職員）の考察

(1) 確かな学力を身に付けるについて

- ・児童アンケートでは「学校の授業は分かりやすい」に対して、昨年度と同じく約90%の児童が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答しているが、昨年度は「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」が、6%だったのに対し、8%に増加している。授業に対して苦手意識をもっていたり、理解が十分でない児童へのケアをしっかりと行っていく必要がある。
- ・保護者アンケートでは「先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が昨年度の84%から82%に減少したが、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の数値も3%から2%と若干だが減少した。
- ・前年度と同じく、保護者の「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の数値が児童より低くなっているのと、「わからない」が16%と高い。授業における児童の様子について日頃から丁寧に伝えるようにしたい。
- ・自己評価では「分かりやすい授業に努めている」に対して、「あてはまる」が20%だった。自信をもってあてはまると言えるよう、ICT機器の有効的な活用など、研修の機会を設け、よりよい授業作りに努めたい。

(2) 豊かな心を育むについて

- ・児童の「あいさつがしっかりできている」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」で79%から76%に、保護者の「お子様はあいさつがしっかりできている」は、80%から74%に減少しており、あいさつを意識した生活をする児童が減少した。ただ、「あてはまる」と自信をもって回答することのできた児童は昨年度の37%から41%に増加した。個々が、自信をもってあいさつできていると思えるよう続けて指導をしていきたい。
- ・児童アンケートでは、「先生はあなたのおよところを認めてくれていると思う」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、昨年度の70%から68%と若干減少しているが、同じく児童アンケートの「自分にはよいところがあると思う」は、昨年度と同じ74%だった。しかし、どちらの問いにも「わからない」と回答する児童が、21%、15%と高い。自分の良さに気付くことができるように、日頃からその子のよさを言葉にして伝える活動を大切にしたい。
- ・自己評価では、「児童は、自分のよさを自覚していると思う」に対して、「思う」が4%だった。児童理解に努め、積極的にその子のよさを伝えることで、よさを自覚できる子どもを多くしていきたい。
- ・児童の「学校では、いじめがなく安心して生活している」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、昨年度の82%から78%に減少したが、2年前に比べれば高水準が保てた。保護者の「学校は、いじめに対して適切な指導をしている」は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が51%から53%に増加した。引き続き、全員が「あてはまる」と回答できる学校を目指し、小さなトラブルも見逃さず丁寧に対応できるようにしていきたい。

(3) 健やかな体（安全）を育むについて

- ・児童の「体育の授業や、北っ子タイムなどで、進んで体を動かしている」に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が、79%から75%に減少している。今年度は、感染対策における制限も大幅に緩和され、積極的に外遊びを推奨するよう策を講じてきた。児童の満足度が増すようさらに取組を進めていきたい。
- ・交通ルール遵守の意識は、子どもも保護者も高まった。保護者は、引き続き徹底した安全指導を求めている。飛び出し事故なども起きているので、学級活動や通学団会において、命の大切さについて考えさせるとともに、交通ルール遵守の意識を高める指導に努めたい。

IV 学校関係者評価

1 「確かな学力を身に付ける」について

- わたしたちから見れば、先生方はしっかり教えてくださっているように思う。低学年は元気よく授業に取り組んでいたし、中学年以降になると静かに落ち着いて授業に取り組んでいた。4年生の劇の練習などは自分たちで作り上げようという姿勢が見られて大変うれしく思った。
- 授業をするときにプロジェクターやタブレットなどのICT機器がふんだんに使われていて、教育の進歩がすごいなと思ったけれど、日光が差す関係でプロジェクターの映像が見にくいと感じた。そういう教師のちょっとした配慮はやはり必要ではないかと思った。
- 低学年がグループで話し合いをしていて、すごいなと思いましたが、本当にその人数で話し合いができるのかは疑問に感じた。発達段階に応じたペア学習、グループ学習をしていく必要もあるのかなと思う。

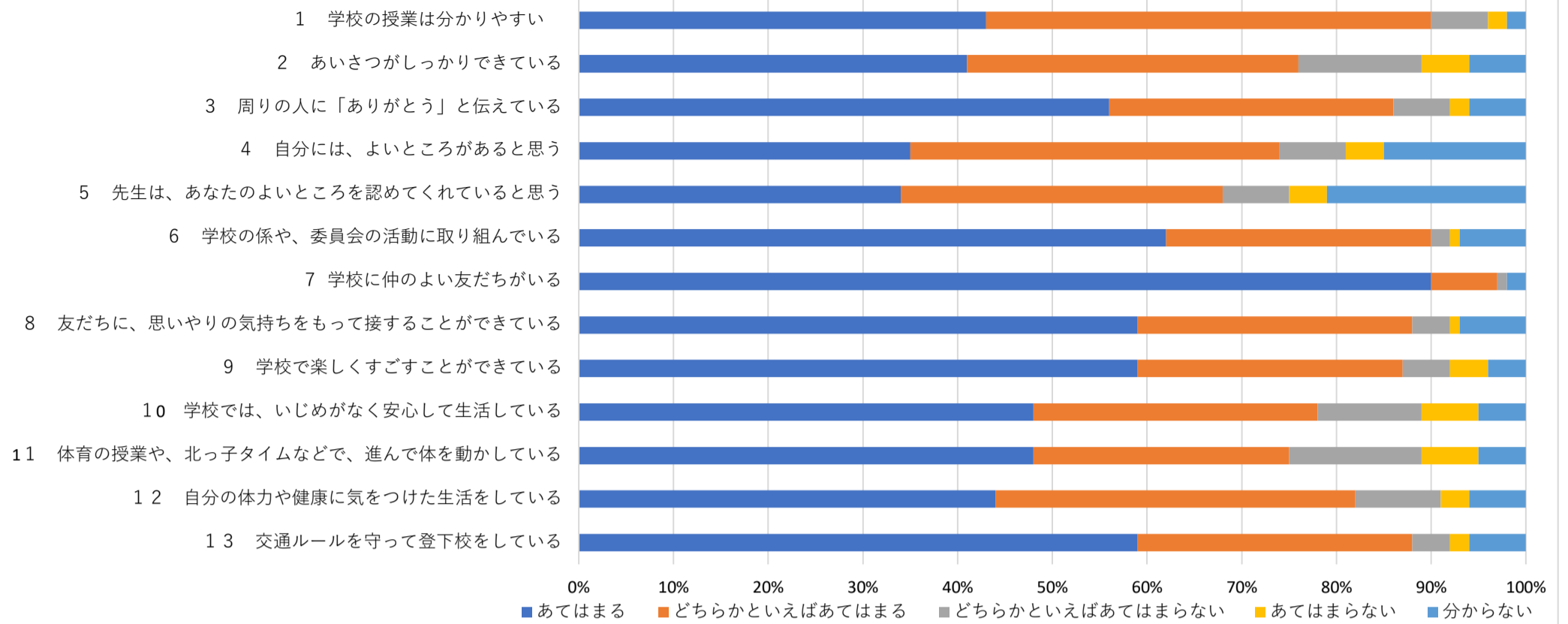
2 「豊かな心を育む」について

- 友達関係やいじめ等、それぞれの学年によって状況は変わってくるので、すべての問題を解決することは難しいが、いじめが少ない状況は好ましいと思う。
- 自己肯定感、自己有用感をもたせるために、学校はすごく努力していると感じる。日本人は自己肯定感の低い人が多いので、小さいうちから自分のよいところを他人に言ってもらうことが大切だし、ありがとうの北っ子くんのような取組を継続的にしていくことは重要だと思うので是非続けてほしい。子どもたちの自己肯定感は学校だけで醸成されるものではないので、家庭と学校で連携して進めていってもらえたらと思う。

3 「健やかな体を育む（安全面含む）」について

- コロナが収束し、外で元気に遊ぶ子が増えたように思う。外で遊ぶのが嫌いな子もいるので個性を尊重していただければよいが、体力作りも大切な一面なので、また様々な取組をしてほしい。

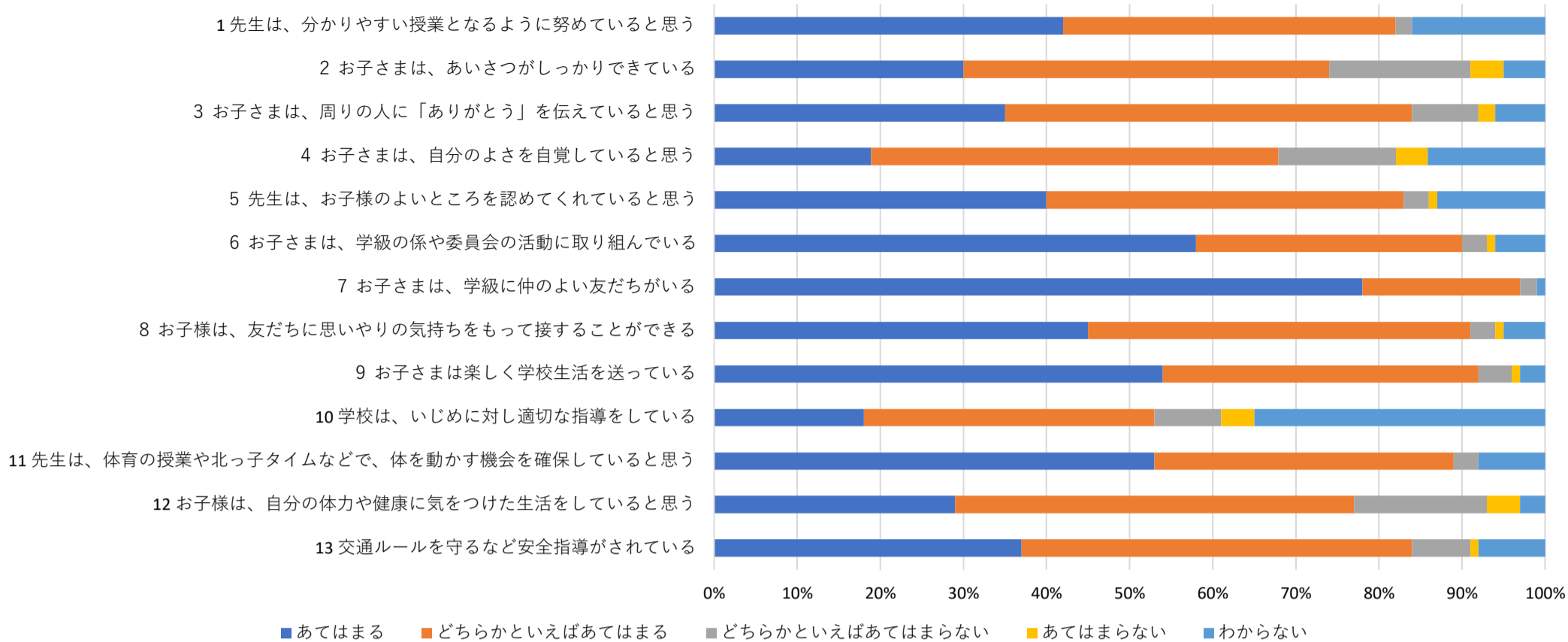
令和5年度 富士松北小学校 児童アンケート



重点目標	児童アンケート内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
確かな学力を身に付ける	1 学校の授業は分かりやすい	43%	47%	6%	2%	2%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできている	41%	35%	13%	5%	6%
	3 周りの人に「ありがとう」と伝えている	56%	30%	6%	2%	6%
	4 自分には、よいところがあると思う	35%	39%	7%	4%	15%
	5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	34%	34%	7%	4%	21%
	6 学級の係や、委員会の活動に取り組んでいる	62%	28%	2%	1%	7%
	7 学級に仲のよい友だちがいる	90%	7%	1%	0%	2%
	8 友だちに、思いやりの気持ちをもって接することができる	59%	29%	4%	1%	7%
	9 学校で楽しくすごすことができている	59%	28%	5%	4%	4%
	10 学校では、いじめがなく安心して生活している	48%	30%	11%	6%	5%
	健やかな体を育む	11 体育の授業や、北っ子タイムなどで、進んで体を動かしている	48%	27%	14%	6%
12 自分の体力や健康に気をつけた生活をしている		44%	38%	9%	3%	6%
13 交通ルールを守って登下校をしている		59%	29%	4%	2%	6%

重点目標	児童アンケート内容	「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」	昨年度	2年前
確かな学力を身に付ける	1 学校の授業は分かりやすい	90%	90%	90%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできている	76%	79%	74%
	3 周りの人に「ありがとう」と伝えている	86%	89%	87%
	4 自分には、よいところがあると思う	74%	74%	68%
	5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	68%	70%	84%
	6 学級の係や、委員会の活動に取り組んでいる	90%	90%	100%
	7 学級に仲のよい友だちがいる	97%	97%	94%
	8 友だちに、思いやりの気持ちをもって接することができる	88%	88%	95%
	9 学校で楽しくすごすことができている	87%	90%	92%
	10 学校では、いじめがなく安心して生活している	78%	82%	46%
	健やかな体を育む	11 体育の授業や、北っ子タイムなどで、進んで体を動かしている	75%	79%
12 自分の体力や健康に気をつけた生活をしている		82%		
13 交通ルールを守って登下校をしている		88%	85%	82%

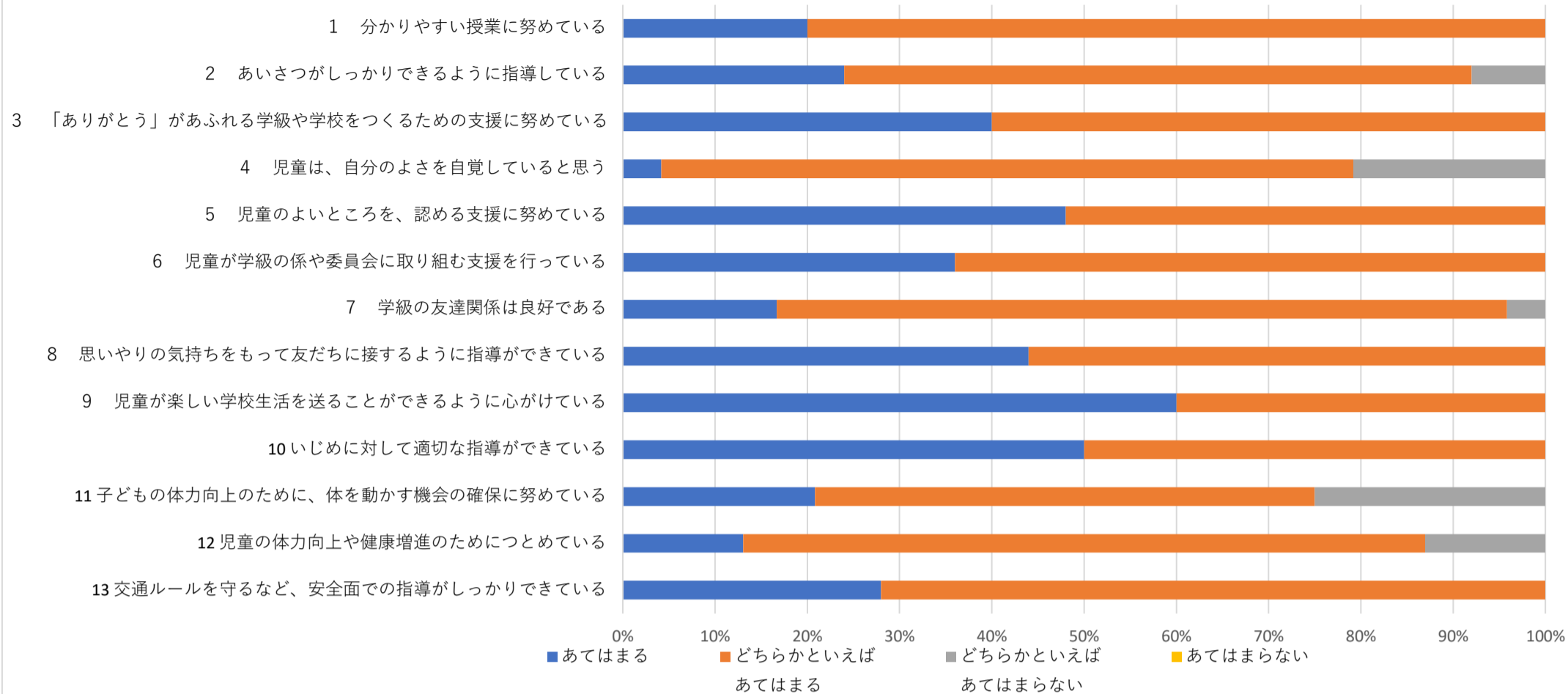
令和5年度 富士松北小学校 保護者アンケート



重点目標	保護者アンケート内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
確かな学力を身に付ける	1 先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う	42%	40%	2%	0%	16%
	2 お子さまは、あいさつがしっかりできている	30%	44%	17%	4%	5%
豊かな心を育む	3 お子さまは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思う	35%	49%	8%	2%	6%
	4 お子さまは、自分のよさを自覚していると思う	20%	52%	15%	4%	15%
	5 先生は、お子様のよいところを認めてくれていると思う	40%	43%	3%	1%	13%
	6 お子さまは、学級の係や委員会の活動に取り組んでいる	58%	32%	3%	1%	6%
	7 お子さまは、学級に仲のよい友だちがいる	78%	19%	2%	0%	1%
	8 お子様は、友だちに思いやりの気持ちをもって接することができる	45%	46%	3%	1%	5%
	9 お子さまは楽しく学校生活を送っている	54%	38%	4%	1%	3%
	10 学校は、いじめに対し適切な指導をしている	18%	35%	8%	4%	35%
健やかな体を育む	11 先生は、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会を確保していると思う	53%	36%	3%	0%	8%
	12 お子様は、自分の体力や健康に気をつけた生活をしていると思う	29%	48%	16%	4%	3%
	13 交通ルールを守るなど安全指導がされている	37%	47%	7%	1%	8%

重点目標	保護者アンケート内容	「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」	昨年度	2年前
確かな学力を身に付ける	1 先生は、分かりやすい授業となるように努めていると思う	82%	84%	81%
	2 お子さまは、あいさつがしっかりできている	74%	80%	78%
豊かな心を育む	3 お子さまは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思う	84%	86%	81%
	4 お子さまは、自分のよさを自覚していると思う	72%	70%	65%
	5 先生は、お子様のよいところを認めてくれていると思う	83%	84%	84%
	6 お子さまは、学級の係や委員会の活動に取り組んでいる	90%	90%	89%
	7 お子さまは、学級に仲のよい友だちがいる	97%	95%	95%
	8 お子様は、友だちに思いやりの気持ちをもって接することができる	91%	90%	91%
	9 お子さまは楽しく学校生活を送っている	92%	92%	92%
	10 学校は、いじめに対し適切な指導をしている	53%	51%	43%
健やかな体を育む	11 先生は、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会を確保していると思う	89%	89%	85%
	12 お子様は、自分の体力や健康に気をつけた生活をしていると思う	77%		
	13 交通ルールを守るなど安全指導がされている	84%	79%	83%

令和5年度自己評価（教職員）



重点目標	自己評価内容	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	分からない
確かな学力を身に付ける	1 分かりやすい授業に努めている	20%	80%	0%	0%	0%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできるように指導している	24%	68%	8%	0%	0%
	3 「ありがとう」があふれる学級や学校をつくるための支援に努めている	40%	60%	0%	0%	0%
	4 児童は、自分のよさを自覚していると思う	4%	72%	20%	0%	4%
	5 児童のよいところを、認める支援に努めている	48%	52%	0%	0%	0%
	6 児童が学級の係や委員会に取り組む支援を行っている	36%	64%	0%	0%	0%
	7 学級の友だち関係は良好である	16%	76%	4%	0%	4%
	8 思いやりの気持ちをもって友達に接するように指導ができています。	44%	56%	0%	0%	0%
	9 児童が、楽しい学校生活を送ることができるように心がけている	60%	40%	0%	0%	0%
	10 いじめに対して適切な指導ができています	48%	48%	0%	0%	4%
	健やかな体を育む	11 子どもの体力向上のために、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会の確保に努めている。	20%	52%	24%	0%
12 児童の体力向上や健康増進のためにつとめている		48%	48%	0%	0%	4%
13 交通ルールを守るなど、安全面での指導に力を入れている		28%	72%	0%	0%	0%

重点目標	自己評価内容	「思う」「やや思う」合計	昨年度	2年前
確かな学力を身に付ける	1 分かりやすい授業に努めている	100%	92%	90%
豊かな心を育む	2 あいさつがしっかりできるように指導している	92%	92%	79%
	3 「ありがとう」があふれる学級や学校をつくるための支援に努めている	100%	96%	89%
	4 児童は、自分のよさを自覚していると思う	76%	63%	74%
	5 児童のよいところを、認める支援に努めている	100%	96%	70%
	6 児童が学級の係や委員会に取り組む支援を行っている	100%	88%	90%
	7 学級の友だち関係は良好である	92%	83%	97%
	8 思いやりの気持ちをもって友達に接するように指導ができています。	100%	100%	88%
	9 児童が、楽しい学校生活を送ることができるように心がけている	100%	92%	90%
	10 いじめに対して適切な指導ができています	96%	92%	82%
	健やかな体を育む	11 子どもの体力向上のために、体育の授業や北っ子タイムなどで、体を動かす機会の確保に努めている。	72%	71%
12 児童の体力向上や健康増進のためにつとめている		96%		
13 交通ルールを守るなど、安全面での指導に力を入れている		100%	83%	85%